市政のここが聞きたい

議会のホームページから、議会の映像がご覧いただけます。

質問項目一覧

（通告順）

○加藤利江
①福祉の町ふかやはどこへ
②木曽義仲ゆかりの全国連携推進会議
③深谷市の節電対策と堆肥センターの今後
④上柴町東二丁目のインフラ整備

○清水修
①市営グラウンドの整備
②地域に根差した産業振興
③使用料の見直し

○髙田博之
①産業祭は大成功であった。次回に向けての取り組みは
②台風12号による９月１日の被害について伺う

○馬場茂
①産業祭
②砂ぼこり対策
③企業誘致

○柴崎重雄
①交通安全対策
②放射線量
③医師不足解消

○五間くみ子
①高齢者施策について

○為谷剛
①防災対策
②中央土地区画整理事業

○三田部恒明
①深谷市政策体系のデザイン
②深谷市補助金の見直し

○倉上由朗
①深谷市の生活排水処理事業
②防災対策

○松本政義
①花園総合支所の窓口業務
②花園総合運動場内の多目的広場の有料化

○新井清
①第一石産㈱の、深谷市への進入路の道路寄附

○清水睦
①こども達を放射能汚染から守るための放射能対策を
②予防接種の拡充を
③こども医療の拡充を

○永田勝彦
①瀬山信号機
②『吉野川に石斑魚（ウグイ）をの会』の吉野川草刈り
③商工会合併申し入れ
④深谷オーキッドファーム

○石川克正
①安心を担保に！国民健康保険、今後の論点を整理する
②渋沢栄一翁没後80周年事業、事業総括は

○加藤温子
①市民の声「これでよいのか」を問う
②省エネルギーモデル温室土地・建物貸し付け内容とその対応は

○武井伸一
①渋沢栄一没後80年記念事業を振り返って
②清水川排水機場

○村川徳浩
①深谷市産業祭
②深谷市高品質堆肥製造施設

○中矢寿子
①内水ハザードマップ
②女性の視点からの防災対策
③空き家再生等推進事業（国土交通省）

○田嶋均
①深谷市の成長戦略
②深谷市の行政サービス

Q 生活保護政策、稼働年齢層への対応は

A 関係機関と連携し、自立へ向けた支援を行っている

加藤 利江（かとう としえ）

問 **生活保護の現状について、ケースワーカーは市の職員でなければならないのか。また、現在ケースワーカーは何人いるのか。また、ケースワーカーをシルバー人材センターに依頼するか。または公募したらどうか。**

答 現在、生活保護業務を担当するケースワーカーは12名であり、保護受給中の家庭を訪問し、その世帯に必要な援助や生活指導を行っている。このケースワーカーは社会福祉主事である必要があり、「社会福祉主事は都道府県知事または市町村長の補助機関である職員とする」旨、社会福祉法に規定されている。したがって、ケースワーカーは、まず市職員である必要がある。

問 **自立の助長に対する深谷市の方策は。また、支給方法は現在のままでよいのか。**

答 就労支援員、職業訓練支援員及びハローワークと担当ケースワーカーが連携し自立の支援を行っている。また、保護費の支給は口座振り込みにより事故の防止に努めている。

上柴町東二丁目のインフラ整備について

問 **ビバホームが平成24年3月にオープン予定であるが、現状のままの道路で大丈夫なのか。**

答 大規模小売店舗立地法に基づく計画であるため、開店後周辺交通に配慮した対策が実施されているか確認をする。

〈一般質問記事の掲載は、通告順です。〉

Q 植松グラウンド及びその周辺の早急な整備対策を

A 除草等の対策に努めていきたい

清水 修（しみず おさむ）

問 **砂利などが散乱し、グラウンドとして使用できない。また、周辺は草木が生い茂り荒れ放題になっている。早急に対策を。**

答 整備には多額の経費を要すので休止にしている。今後、除草等の対策に努めていく。土手については、県と協議して対策を講じていきたい。

植松グラウンド

住宅リフォーム助成制度の創設を

問 **昨年度、小規模修繕登録制度に1億2千万円もの多額の予算を使っているがその経済効果は。個人住宅が対象の住宅リフォーム助成制度を実施した自治体の経済効果は使った予算の数倍から10倍である。制度の創設を。**

答 小規模登録制度は一定の経済効果は得られている。住宅リフォーム助成については、市内全体の事業者の振興となる対策を研究していきたい。

使用料の見直し及び手続きの簡素化を

問 **公民館は文化の振興などを目的にしており、登録団体は無料にすべきである。また、利用手続きの簡素化を。スポーツ少年団は、体力の向上や健全育成に大きな役割を果たしている。グラウンドの使用は無料に。**

答 登録団体は半額なのでご理解を。利用申し込みについては、平成24年1月から平日は午後8時まで、土日、祝日は午前8時半から午後5時15分まで手続きができるようにしたい。スポーツ少年団については、低い料金設定になっているのでご理解を。

Q 今回の産業祭の反省点は何か

A 会場の分散による連携不足であった

髙田 博之（たかだ ひろゆき）

問 **人出はどうだったか。**

答 昨年度は14万5千人、今年度は6万6千人であった。

問 **費用はどのくらいかかったのか。**

答 昨年度は１３１８万９千円、今年度は８１５万円だった。

問 **今回、特によかったことは。**

答 経費を節減し、日常の商業空間を生かし、にぎわいのある産業祭が実現できた。

深谷市産業祭

台風12号による被害について伺う

問 **深谷市の対応は。**

答 排水機場のポンプの稼働、清水川の越水に伴う土のう積み、雨水ますの清掃、倒木の撤去、情報収集、避難所の開設、土のうの作成等である。

問 **反省すべきところはなかったか。**

答 一部、対応の遅れがあった。

問 **経費はどのくらいかかったのか。**

答 係長以下に支払った時間外勤務手当等の90万３２０８円と、土のう作成代の１０２万９０００円である。

問 **災害の時の指示命令とは。**

答 避難を促す方法には「避難準備情報」「避難勧告」「避難指示」である。

問 **消防団は、どのような時に出動させるのか。**

答 災害現場からの要請や「市対策本部」「大里郡利根川水防組合」からの要請の時に指示を出す。

問 **小学校が臨時休校になったが。**

答 9月1日に小学校1校、9月2日に小学校3校と幼稚園2園が休校となった。通学路の冠水により登下校時の安全確保が困難と判断したためである。

〈一般質問の記事は質問者本人が執筆したものを掲載しております。〉